

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 常陽学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧科 (3年制)	夜・通信	405時間	80×3 240時間	
	はり、きゅう科 (3年制)	夜・通信	300時間	80×3 240時間	
	柔道整復科 (3年制)	夜・通信	315時間	80×3 240時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。 (掲載： https://www.tokyoiryofukushi.ac.jp/disclosure.php)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
特記事項なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 常陽学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。
(掲載：<http://www.joyo.ac.jp/images/yakuin.pdf>)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	2008.5.31 ～ 2020.5.31	経営
非常勤	法律事務所 所長	1998.6.1～ 2020.5.31	法律・規則等
非常勤	株式会社 顧問	2014.6.1～ 2020.5.31	教育
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 常陽学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>															
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 毎年度、各学科の教員間で検討のうえ、各授業を担当する教員が授業計画(シラバス)を作成する。なお上記の検討にあたっては、学生に実施している授業評価アンケートや科目担当教員からの意見なども検証し、これを加味したものとなっている。</p> <p>「あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則」及び「柔道整復師学校養成施設認定規則」に基づき授業計画(シラバス)が作成される。 作成に際し、授業計画(シラバス)の記載形式は学内で以下の通り統一し、学生及び入学希望者にしている。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">①授業科目名</td> <td style="width: 50%;">⑧担当科目教員名</td> </tr> <tr> <td>②分野</td> <td>⑨授業の一般目標</td> </tr> <tr> <td>③実施学年</td> <td>⑩授業の行動目標・到達目標</td> </tr> <tr> <td>④実施学期</td> <td>⑪授業計画(各回の授業プラン)</td> </tr> <tr> <td>⑤単位数</td> <td>⑫成績評価方法</td> </tr> <tr> <td>⑥授業時間数</td> <td>⑬教科書及び参考書</td> </tr> <tr> <td>⑦授業コマ数</td> <td></td> </tr> </table> <p>【時期について】 翌年度の授業計画(シラバス)は12月から2月までに担当となる教員が作成し、3月の理事会・評議員会で全体的に承認されることで正式に決定する。決定された授業計画(シラバス)は学校ホームページにて公表される。</p>		①授業科目名	⑧担当科目教員名	②分野	⑨授業の一般目標	③実施学年	⑩授業の行動目標・到達目標	④実施学期	⑪授業計画(各回の授業プラン)	⑤単位数	⑫成績評価方法	⑥授業時間数	⑬教科書及び参考書	⑦授業コマ数	
①授業科目名	⑧担当科目教員名														
②分野	⑨授業の一般目標														
③実施学年	⑩授業の行動目標・到達目標														
④実施学期	⑪授業計画(各回の授業プラン)														
⑤単位数	⑫成績評価方法														
⑥授業時間数	⑬教科書及び参考書														
⑦授業コマ数															
授業計画書の公表方法	掲載： https://www.tokyoiryofukushi.ac.jp/disclosure.php														
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>															

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価・管理、卒業認定に係る細則及び学生生活の手引きに、学内の成績評価、履修について記載し学生に対し周知を行っている。各学科で定める授業科目の試験（期末試験・実技試験等）より成績評価を行っている。

【参考】「成績評価・管理、卒業認定に係る細則」より引用

2 単位認定

(1) 単位認定および評価通知

個々の科目の単位は、次項に示す試験に合格と判定された者に与える。

① 学業成績簿の記載については、試験の結果に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（60点未満）とする。ただし、再試験・追試験の受験で合格した者については、試験の素点に関わらず可となる。

3 成績評価・管理

(1) 試験の詳細

本校の試験は、期末試験、臨時試験および卒業認定試験（筆記）、卒業認定実技試験がある。試験は、単位認定を行うための重要な資料となる。

① 試験方法および評価方法

試験の形式は筆記試験および実技試験などによって行う。各科目とも100点満点法を用い60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。不合格となった者は、次項に示す再試験を受けなければならない。

② 受験資格

科目の授業時間数の3分の2以上出席していない者は、その科目を受験できない。実習・実技については5分の4以上の出席を必要とする。試験終了後に授業があり、これを欠席し必要な授業時間数を確保できなかった場合、その試験は無効となり単位認定が得られなくなる。

～一部省略～

(2) 再試験・追試験

前項に示す試験に不合格となった者に対しては再試験、病気その他のやむを得ない理由により試験を受験できなかった者に対しては追試験を実施する。

① 再試験・追試験の試験方法および評価方法

試験の形式は筆記試験および実技試験などによって行う。各科目とも100点満点法を用い60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。

なお再試験、追試験は点数が60点以上あっても、60点を学業成績簿上の試験結果とする。不合格となった者は、再々試験を受けなければならない。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価・管理、卒業認定に係る細則及び学生生活の手引きに、単位の認定および成績の評価について記載し学生に対し周知を行っている。学業成績は、授業科目ごとに実施する試験（期末試験・実技試験等）によって評価される。</p> <p>当校では、各授業の評価を、試験の結果に応じて、優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（60点未満）と設定している。各科目とも100点満点法を用い60点以上を合格とし、60点未満を不合格とする。不合格科目については再試験等を実施する。各年次に履修が定められた全科目に合格し、単位を取得しなければ進級できない。</p> <p>当校では、各生徒の履修した全科目の平均点数を算出し、学業成績を管理するほか、特待生制度対象者の選定、卒業時における学業優秀者の表彰候補者選出などにも活用している。</p> <p>平均点数は、各年次に履修した全科目の素点を合計し、履修科目数で除することで算出している。</p> <p>また、成績評価方法については、学校ホームページ上で公表するとともに新入生オリエンテーションにおいて入学学生等に周知を行っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>掲載：https://www.tokyoiryoufukushi.ac.jp/disclosure.php</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧科及びはり、きゅう科においては、①はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧の対象となる人々を人間として尊重することのできる人材の育成、②はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧に関する基礎的知識・技術の習得を教育目標として掲げている。

柔道整復科においては、①柔道整復の対象となる人々を人間として尊重することのできる人材の育成、②柔道整復に関する基礎的知識・技術の習得を教育目標として掲げている。

本教育目標は、成績評価・管理、卒業認定に係る細則及び学生生活の手引きに記載し、学生に対し周知を行っている。

また、学則第 21 条（卒業・修了の認定）において、下記のように定めている。

- 1 校長は、本校所定の教育課程に定めるところにより、各学年ごとに修了すべき科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。
- 2 本校所定の課程を修了した者には、卒業証書を授与する。

卒業認定に関する方針は、学則及び学生生活の手引きに記載し、学生に対して周知を行う。また、卒業認定に関する方針については、学校ホームページ上で公表するとともに新入生オリエンテーションにおいて入学生等に周知を行っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

掲載：<https://www.tokyoiryofukushi.ac.jp/disclosure.php>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京医療福祉専門学校
設置者名	学校法人 常陽学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPにて公開している。 (掲載： http://www.joyo.ac.jp/)
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	はり、きゅう、あん摩 マッサージ指圧科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,850 単位時間/単位	1,605 単位時間/単位	240 単位時間/単位	1,005 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
138人		122人	4人	9人	6人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等

(概要)

入学者の学力低下傾向があることから、成績が奮わない学生への支援体制として、試験等の得点のみならず、授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、担任教員及び各学科長による面談を実施している。期末試験後には入念な解説や再試験、長期休暇等を活用した補講授業、国家試験を控える学生に対してはチューター制度を導入し個別指導を実施する等、教員が一丸となって対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。

当校では課外活動の拡充も図っており、様々な部活動・ゼミが開講されている。曜日毎に異なる部活動・ゼミが開講されているため、意欲ある学生は自身が興味のある分野の部活動・ゼミに参加することが可能である。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39人 (100%)	3人 (7.7%)	33人 (84.6%)	3人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院・整骨院（株）リーフ、(株)HS コーポレーション、(株)SYNERGY JAPAN			
(就職指導内容) 就職相談会、企業セミナーの実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 専門士 はり師、きゅう師、あん摩マッサージ指圧師の国家試験の受験資格・国家資格の取得			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
129人	15人	11.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では長期欠席者の生じる主な原因が「健康上の理由」「経済的理由」「学業不振」等にあると考える。これらを未然に防止すべく、学科長・学級担任が生徒本人や保護者も交えた個別面談・個別指導を行なっている。成績不良者については、得点のみならず授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、指導を行なっている。期末試験後の入念な解説や再試験、春期・夏期の長期休暇を活用した補講授業等、教員が一丸となって成績不良者に対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	はり、きゅう科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,656 単位時間/単位	1,396 単位時間/単位	390 単位時間/単位	870 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		60人	0人	5人	3人	8人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 入学者の学力低下傾向があることから、成績が奮わない学生への支援体制として、試験等の得点のみならず、授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、担任教員及び各学科長による面談を実施している。期末試験後には入念な解説や再試験、長期休暇等を活用した補講授業、国家試験を控える学生に対してはチューター制度を導入し個別指導を実施する等、教員が一丸となって対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。 当校では課外活動の拡充も図っており、様々な部活動・ゼミが開講されている。曜日毎に異なる部活動・ゼミが開講されているため、意欲ある学生は自身が興味のある分野の部活動・ゼミに参加することが可能である。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	2人 (14.3%)	11人 (78.6%)	1人 (7.1%)
(主な就職、業界等)			
鍼灸院・整骨院 (株)SYNERGY JAPAN、(株)アミ)			

(就職指導内容) 就職相談会、企業セミナーの実施
(主な学修成果(資格・検定等)) 専門士 はり師、きゅう師の国家試験の受験資格・国家資格の取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
56人	2人	3.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、学業不振、一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では長期欠席者の生じる主な原因が「健康上の理由」「経済的理由」「学業不振」等にあると考える。これらを未然に防止すべく、学科長・学級担任が生徒本人や保護者も交えた個別面談・個別指導を行なっている。成績不良者については、得点のみならず授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、指導を行なっている。期末試験後の入念な解説や再試験、春期・夏期の長期休暇を活用した補講授業等、教員が一丸となって成績不良者に対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	柔道整復科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2,760 単位時間/単位	1,950 単位時間/単位		180 単位時間/単位		630 単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		52人	0人	5人	14人	19人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
(概要) 入学者の学力低下傾向があることから、成績が奮わない学生への支援体制として、試験等の得点のみならず、授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、担任教員及び各学科長による面談を実施している。期末試験後には入念な解説や再試験、長期休暇等を活用した補講授業、国家試験を控える学生に対してはチューター制度を導入し個別指導を実施する等、教員が一丸となって対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。 当校では課外活動の拡充も図っており、様々な部活動・ゼミが開講されている。曜日毎に異なる部活動・ゼミが開講されているため、意欲ある学生は自身が興味のある分野の部活動・ゼミに参加することが可能である。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	1人 (5.6%)	12人 (66.7%)	5人 (27.8%)
(主な就職、業界等)			
接骨院 (株)テン十字グループ、(株)F.C.C)、スポーツトレーナー			

(就職指導内容) 就職相談会、企業セミナーの実施		
(主な学修成果 (資格・検定等)) 専門士 柔道整復師の国家試験の受験資格・国家資格の取得		
(備考) (任意記載事項)		
中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60人	6人	10.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では長期欠席者の生じる主な原因が「健康上の理由」「経済的理由」「学業不振」等にあると考える。これらを未然に防止すべく、学科長・学級担任が生徒本人や保護者も交えた個別面談・個別指導を行なっている。成績不良者については、得点のみならず授業の出欠席・聴講状況も含めて情報を収集し、指導を行なっている。期末試験後の入念な解説や再試験、春期・夏期の長期休暇を活用した補講授業等、教員が一丸となって成績不良者に対応し、不得意科目の克服と全体の成績向上につながるよう努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他 施設設備整備費	備考 (任意記載事項)
はり きゅう、あ ん摩マッ サージ指 圧科	300,000 円	1,500,000 円	100,000 円	
はり、 きゅう科	300,000 円	1,000,000 円	100,000 円	
柔道 整復科	300,000 円	1,000,000 円	100,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HP公開している (掲載： https://www.tokyoiryofukushi.ac.jp/disclosure.php)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 令和2年度 (2020年度) から実施予定。 学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を実施する。		
学校関係者評価の委員 評価を確実に実施し、令和2年度 (2020年度) からその結果を公表するために委員の選任を行う		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和2年度 (2020年度) から評価を確実に公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

(掲載：<https://www.tokyoiryofukushi.ac.jp/>)